

地域の宝 太刀踊り

鞭地区では100年近く前から太刀踊りが継承されています。運動会では4番までを4年生以上でおどりました。秋祭りでは13番までおどります。今年は6年生にとって最後の太刀踊りです。

1学期から、私たちは太刀踊りを未来に残していきたいと思い、総合的な学習の時間などに、多くの人に太刀踊りを見てもらおうとショートムービーやポスターを作りました。ショートムービーはIWKで放送してもらいました。

お祭り当日、おみこしをかついで行く、広場にはたくさんの人たちが来てくれていました。



(南郷小学校 6年 竹内 虹心)

いよいよ太刀踊りをひろうする時間です。夏休みから地域の方たちに教えていただいたことを思い出しながらおどりました。おどった後、たくさんの方がはく手してくれて気持ちよかったです。

これからも地域の宝の1つである太刀踊りを私たちが守っていきます。

小西しょうさんとデザインしたよ

ぼくたちは、小西しょうさんに会いました。小西さんは高知の人で、せかいでゆう名なデザイナーです。今はニューヨークにすんでいるそうです。いろんなふくのでザインをしていて、パラリンピックのかい会しきのいしよのデザイナーもしています。

小西さんは、ペットボトルとかのごみは、何かにつかえるとごみではなくなると教えてくれました。みんな海に行つて、ペットボトルやひも、貝がらやビッチグラスなどをたくさんひろいました。昼からは、ひろったものをつかってしやしん立てやネットワークスを作りま

した。だれにあげたいか何を作りたいかをたくさん考えて作ったので、いい作品ができました。

小西さんはかっこよくてやさしかったです。また会いたいです。



(三浦小学校 2年 田渕ひまり / 森星 / 井上涼華 / 野村皇羽 / 沖本橙哉 / 徳廣海音)

防げる問題とキリバスとの交流授業をとおして

10月30日、日本から7千キロ以上離れたキリバスという島国の中学生たちと、インターネットを通じて交流しました。私にとってキリバスの中学生との交流は、地球温暖化や海面上昇が与える影響を改めて知る、再確認の場となりました。

日本とキリバスとの距離は遠く離れているけれど、この交流でぐっと近くなったように思います。また、今後も交流を続けていくことで、キリバスのことを知り多くの人が環境問題に取り組んでいけたらいいと感じました。

今回の交流で、「キリバスという国を守りたい」と率直に思いました。そのためにも私たちが今からできることとして、ポイ捨てをしない、分別できるものは分



(大方高校 3年 入野 由妃)

別し、スーパーなどのリサイクルボックスに入れる、などがあります。

このような行動が少しでも積み重なることで防げる問題がきつとある、そう強く思えた体験でした。